

震災とキリスト者

6月18日（月）午後1時から

お茶の水クリスチャンセンター416号室

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 Tel:03-3296-1001

1:00～1:30 礼拝 藤原導夫（市川北教会牧師）

1:30～2:00 総会（神学会会員のみ）

神学会会員の方々は、ぜひ、礼拝からご出席ください。

公開研究会（2:00～5:00）

研究会は公開です。どなたでもおいでください。席上献金があります。

岡村直樹 「震災とクリスチャンユースの信仰形成」

昨年3月の大震災後、多くのクリスチャンは様々な復興活動に積極的に関わるため被災地に入りました。それらの体験、特に今回のような未曾有の震災を目の当たりにすることは、クリスチャンの信仰にどのような影響を与えるのでしょうか。今回はクリスチャンユースに焦点を当てた実証研究を通し、復興活動と信仰形成の関係性について検証します。

プロフィール：コロンビア聖書大学、トリニティー神学校を経て、クレアモント神学大学院を卒業。カリフォルニア州、アズーサパシフィック大学で教鞭を執る傍ら、日系人長老教会で約10年牧会し、2006年に帰国する。現在、東京基督教大学大学院教授、日本同盟基督教団神学教師、福音主義神学会東部部会理事。大学院における担当教科は、「宗教教育学」、「宗教心の発達」、「神学研究の基礎」等。専門分野は宗教の現象学的研究（グラウンデッドセオリー）。哲学博士（Ph.D.）。横須賀中央教会会員。

渡辺 聡 「教会は大震災にどう関わったのか—— 3・11支援教会、教派のリーダー達に聞く」

「東日本大震災は未曾有の被害を東北沿岸部周辺の住民にもたらしたが、内外のキリスト教会は直ちに支援活動を開始した。教会の支援が誰に対して、どのように、またどのようなモチベーションによってなされたのかを各教会、教派のリーダー達へのインタビューを基に総括してみたい。」

茨城大学人文学部、西南学院大学神学部卒。南部バプテスト神学校博士課程修了（Th.D.）。現在東京バプテスト教会ミニストリー牧師。青山学院大学総合文化政策学部非常勤講師（宗教社会学）。訳書：ボブ・ラッセル『12の危機からあなたを守る聖書のメッセージ』（共訳、いのちのことば社、2007）。著書：『東京バプテスト教会のダイナミズム：日本唯一のメガ・インターナショナル・チャーチが成長し続ける理由（わけ）』（ヨベル、2010）、『東京バプテスト教会のダイナミズム2：渋谷のホームレスがクリスチャンになる理由（わけ）』（ヨベル、2012）

問い合わせ：書記・関野祐二（KGH01166@nifty.ne.jp）